

令和3年度
文部科学省 国立教育政策所
教育課程研究センター 教育課程研究指定校事業

研究主題

「地域の課題解決に向けた教育活動の授業実践に関する
指導方法の工夫改善及び評価に関する研究」

熊本県立菊池高等学校 教諭 猿渡瑠里



研究主題設定の理由

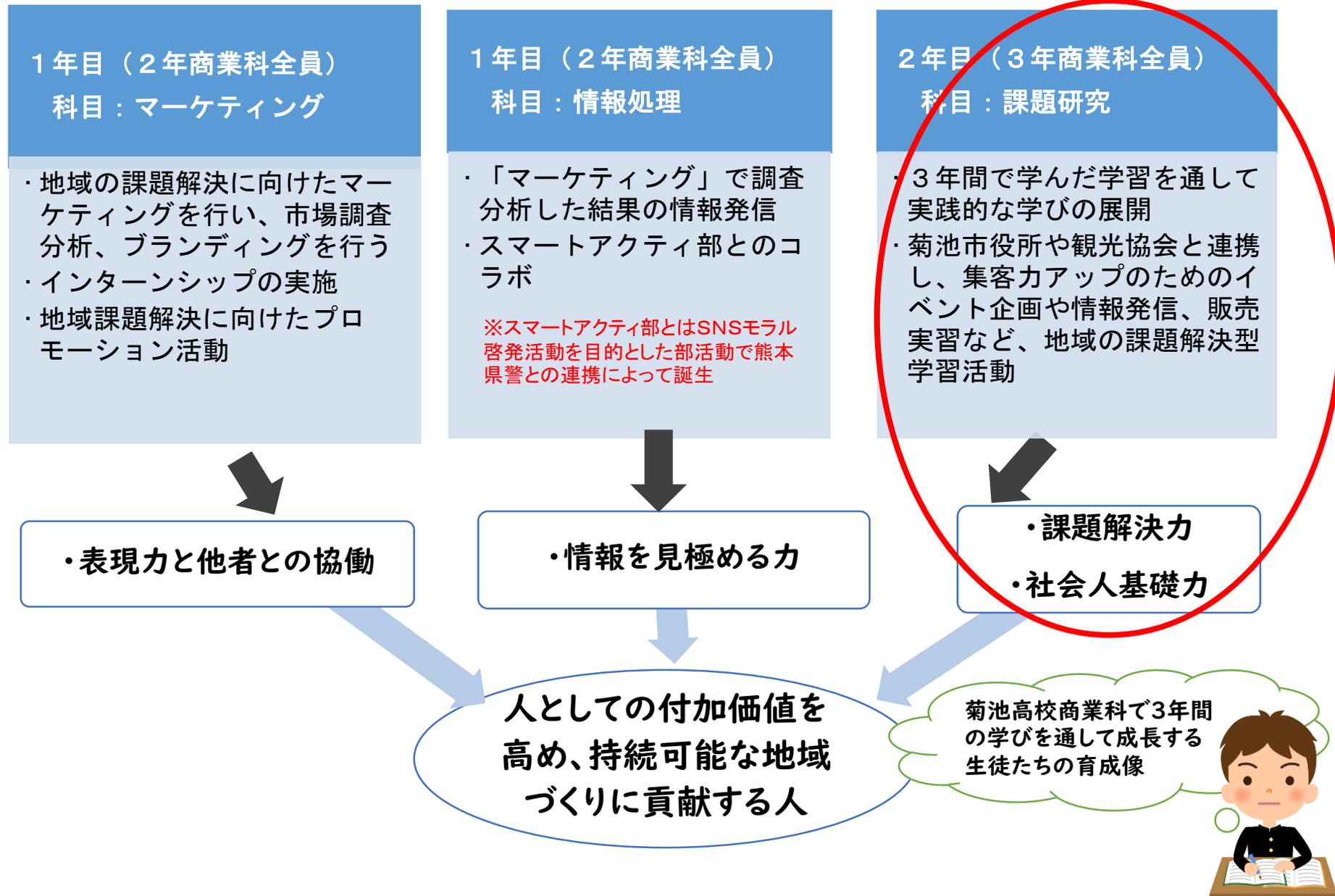
本校商業科 指導の重点

「人と人、人と社会をつなぐ
未来のビジネスリーダーの育成」

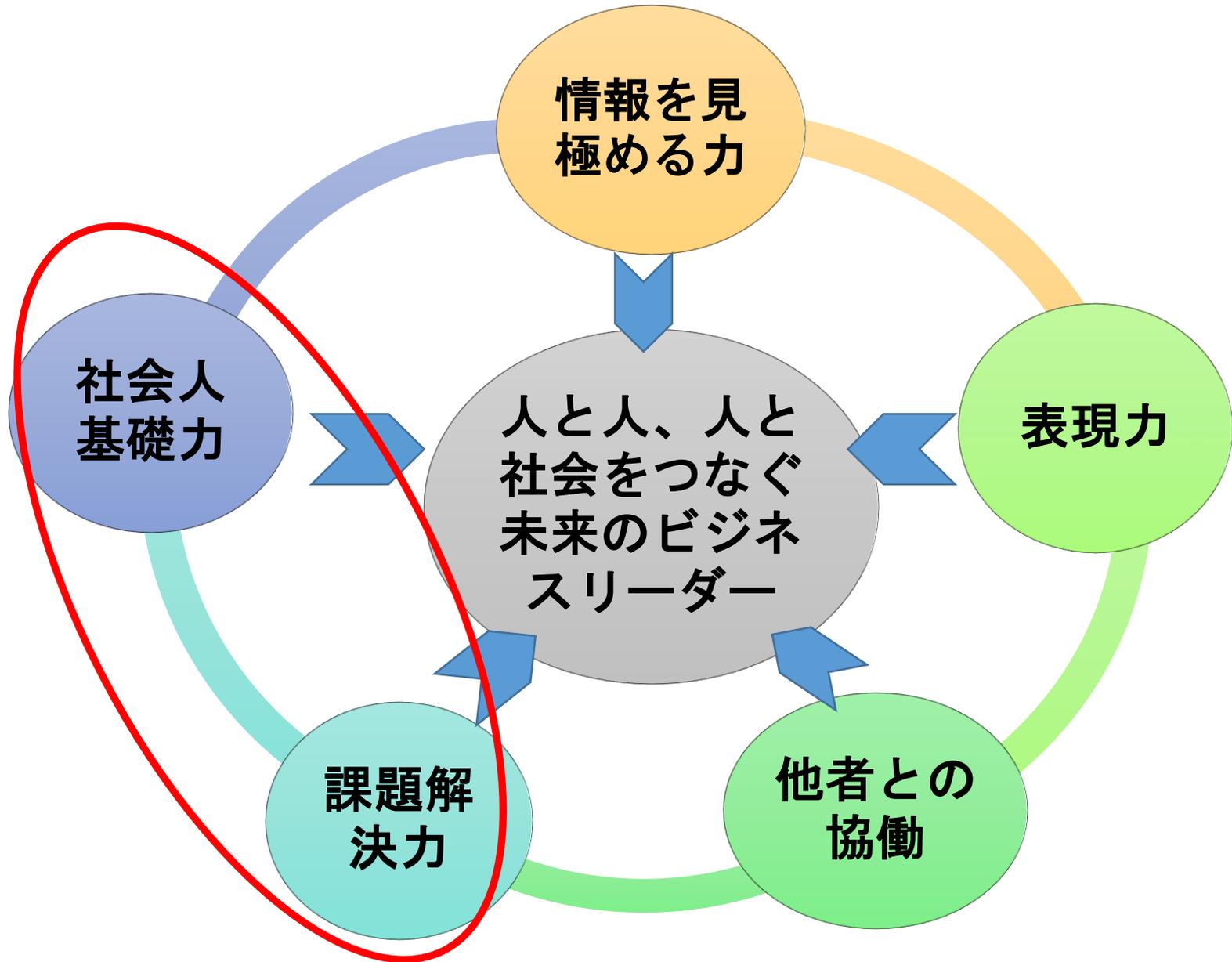


**「人としての付加価値を
高めた生徒の育成」**

～研究概要図～



○育成したい資質・能力



本年度の研究内容

①課題解決学習を取り入れた授業の研究

- ・ 2年目における科目横断的な学習への取組
- ・ 課題解決力、社会人基礎力の育成

②学習活動の工夫改善

- ・ 「主体的・対話的で深い学び」に向けた取組
- ・ ビジネス的な見方・考え方の醸成
- ・ 学校全体で科目横断的な学習に向けた取組

③評価方法の工夫改善

- ・ 課題研究における観点別学習状況の評価に関する研究
- ・ 資質、能力を適切に評価するための評価規準やルーブリックの作成

研究内容

- ① 課題解決学習を取り入れた授業の研究について

本年度の研究内容

《①課題解決を取り入れた授業の研究》

目的：地域課題解決



科目：課題研究



科目：情報処理
マーケティング

本年度の研究内容

《①課題解決を取り入れた授業の研究》

科目：「課題研究」3単位

○グループ編成は昨年度のまま

○6グループによる地域課題解決

○各グループに広報担当

本年度の研究内容

《①課題解決を取り入れた授業の研究》

【6グループの取組内容】

- ・ 夜市 → 商店街活性化
- ・ コスプレ → 町おこし
- ・ 婚活 → 少子高齢化対策
- ・ 農トレ → 町おこし
- ・ ジビエ → 鳥獣被害対策
- ・ カフェ → 商店街活性化

本年度の研究内容

《②課題解決を取り入れた授業の研究》

地域や企業との活発な交流活動を通して



**【目的】 「課題解決力」 育成
「社会人基礎力」 育成**

本年度の研究内容

《②課題解決を取り入れた授業の研究》



2021. 6/10 課題研究発表会 オープニングの様子

本年度の研究内容

《②課題解決を取り入れた授業の研究》



2021. 6/10 課題研究発表会 関係機関参加者

本年度の研究内容

《②課題解決を取り入れた授業の研究》

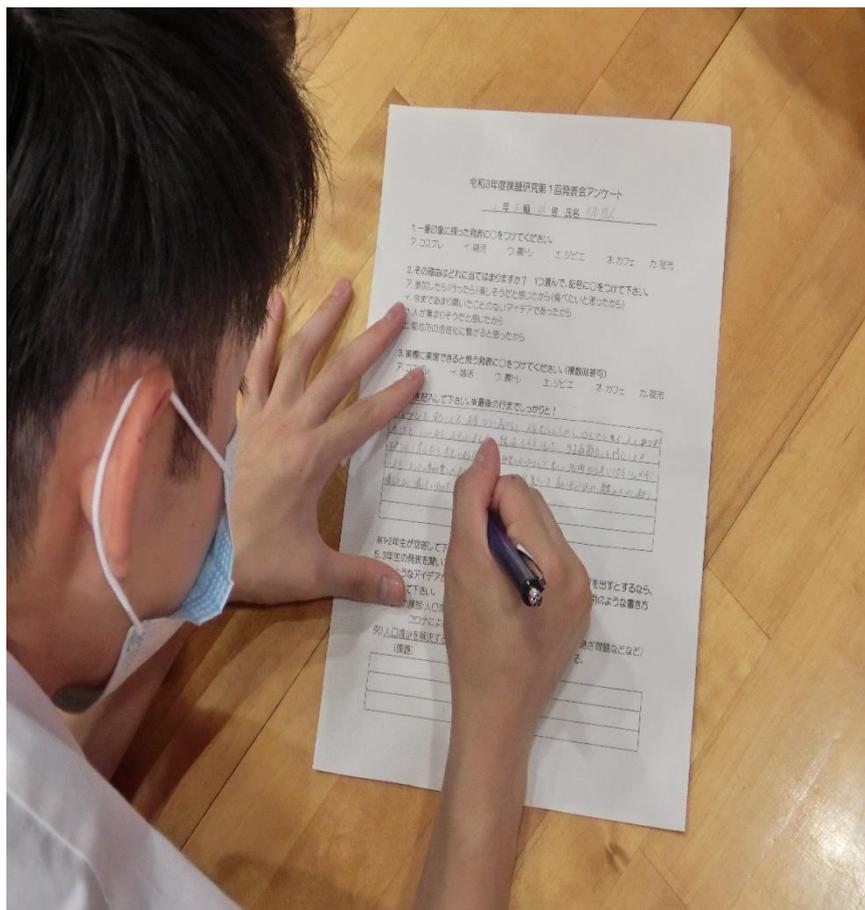


2021. 6/10 課題研究発表会

生徒たちの発表の様子

本年度の研究内容

《②課題解決を取り入れた授業の研究》



2021. 6/10 課題研究発表会 参加者のアンケート記入

本年度の研究内容

《②課題解決を取り入れた授業の研究》



2021. 6/10 課題研究発表会

ワークショップの様子

本年度の研究内容

《②課題解決を取り入れた授業の研究》



2021. 6/10 課題研究発表会

ワークショップの様子

研究内容

②学習活動の工夫改善
に関する取組について

本年度の研究内容

《学習活動の工夫改善に関する取組》

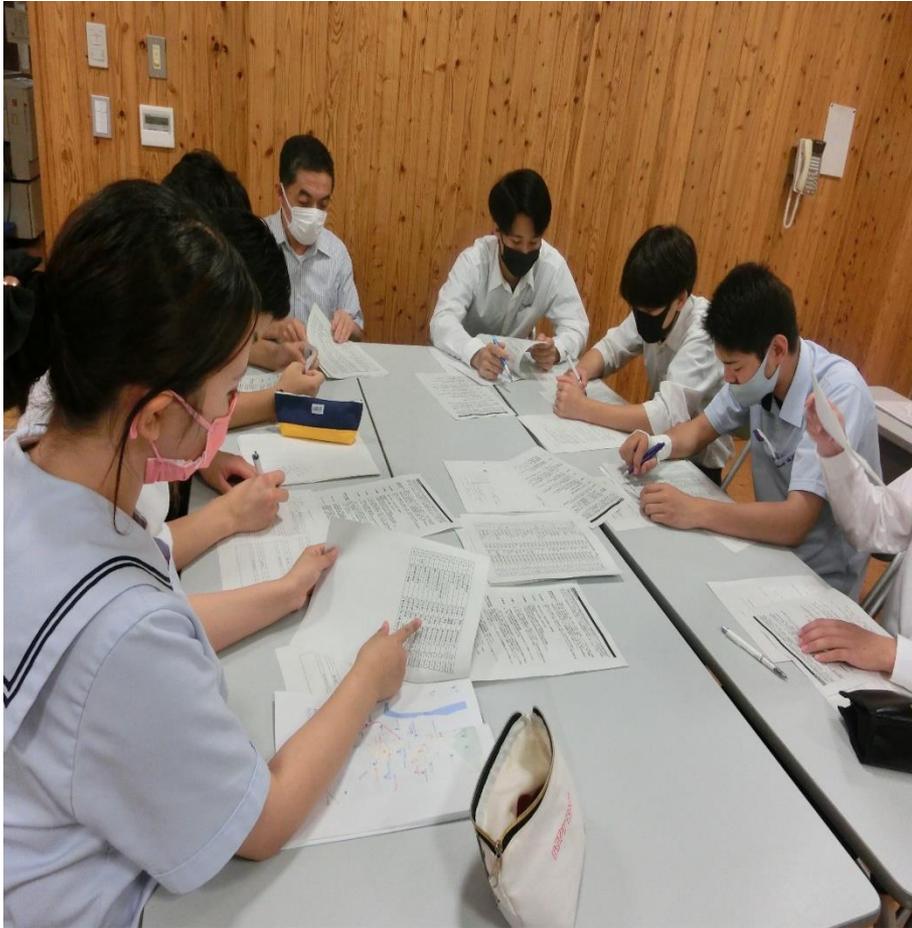
- ①主体的・対話的で深い学びの実践
- ②ビジネス的な見方・考え方の醸成



- ・ワークショップの充実
- ・プレゼンテーションの機会を増やす
- ・菊高ジャックの開催

《学習活動の工夫改善に関する取組》

- ①主体的・対話的で深い学びの実践
- ②ビジネス的な見方・考え方の醸成



2021. 7/8関係機関とのワークショップの様子

《学習活動の工夫改善に関する取組》

② ビジネス的な見方・考え方の醸成



ワークショップ：クラウドファンディングについて

《学習活動の工夫改善に関する取組》

- ①主体的・対話的で深い学びの実践
- ②ビジネス的な見方・考え方の醸成



課題研究：各グループからの報告

本年度の研究内容

《学習活動の工夫改善に関する取組》

- ・ **菊高ジャックの開催**



10月30日（土）に1年～3年商業科
全員によるイベント運営・販売実習

本年度の研究内容

《学習活動の工夫改善に関する取組》

菊高ジャックの内容

①9:30～15:30 スクール婚活

②12:00～15:00 菊高ショップ(KKS)

③12:00～ 子どもたちの
ハロウィンパーティー

本年度の研究内容

《学習活動に関する工夫・改善》



2021. 10/30 菊高ジャック



■生徒による甲冑姿

本年度の研究内容

《学習活動に関する工夫・改善》



■ くまモン、ころろう君登場



■ ハーバリウム体験

本年度の研究内容

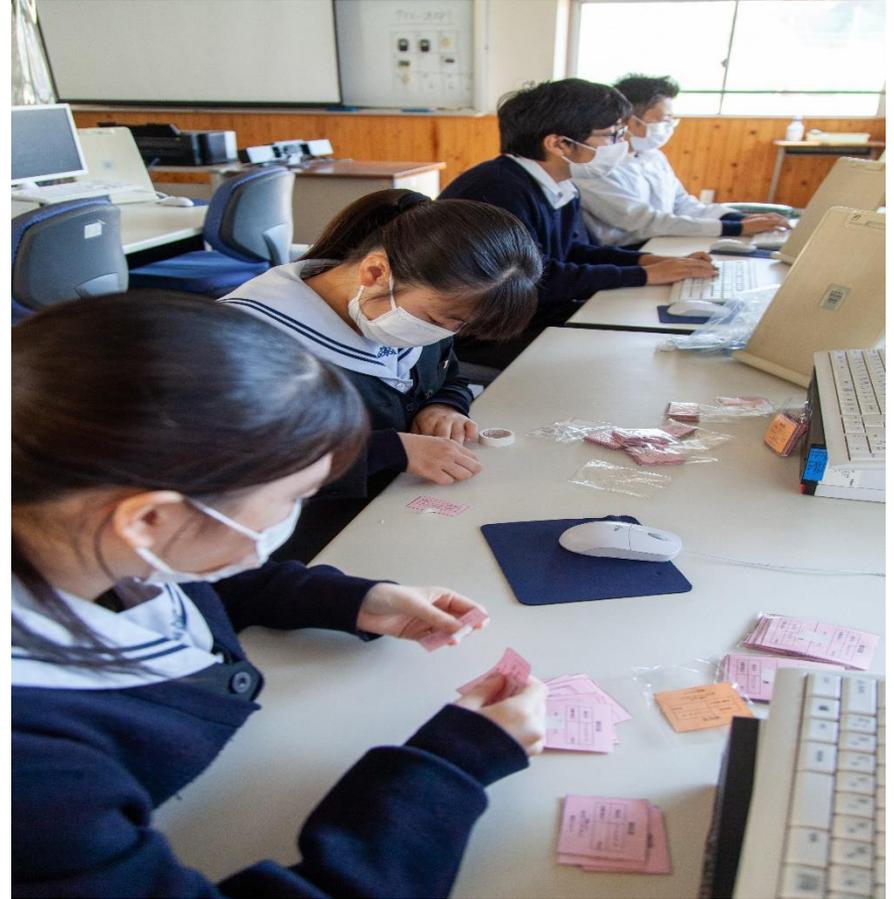
《学習活動に関する工夫・改善》



■販売実習の様子

本年度の研究内容

《学習活動に関する工夫・改善》



■菊高ジャックにおける準備の様子

▼販売実習から学んだこと

- 販売実習で出来なかったことを見つけ話し合い行動することの大切さ
- 販売担当、経理→経理担当の連携
- 相手に悪い印象を与えないための服装、挨拶、礼儀
- 問題の原因を明確にし、解決策を考え対応することの必要性

本年度の研究内容

《学習活動の工夫改善に関する取組》

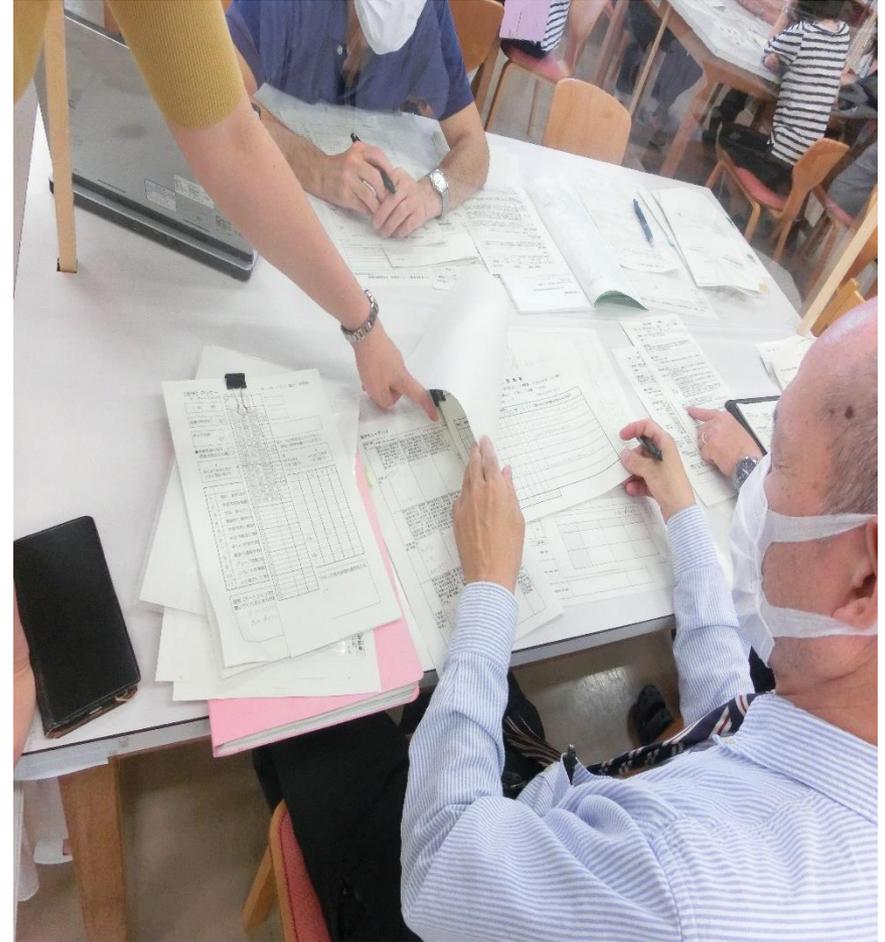
③学校全体で科目横断的な学習に向けた取組



・職員研修の実施

《学習活動の工夫改善に関する取組》

③学校全体で科目横断的な学習に向けた取組



職員研修：教科ごとのワークショップ

《学習活動の工夫改善に関する取組》

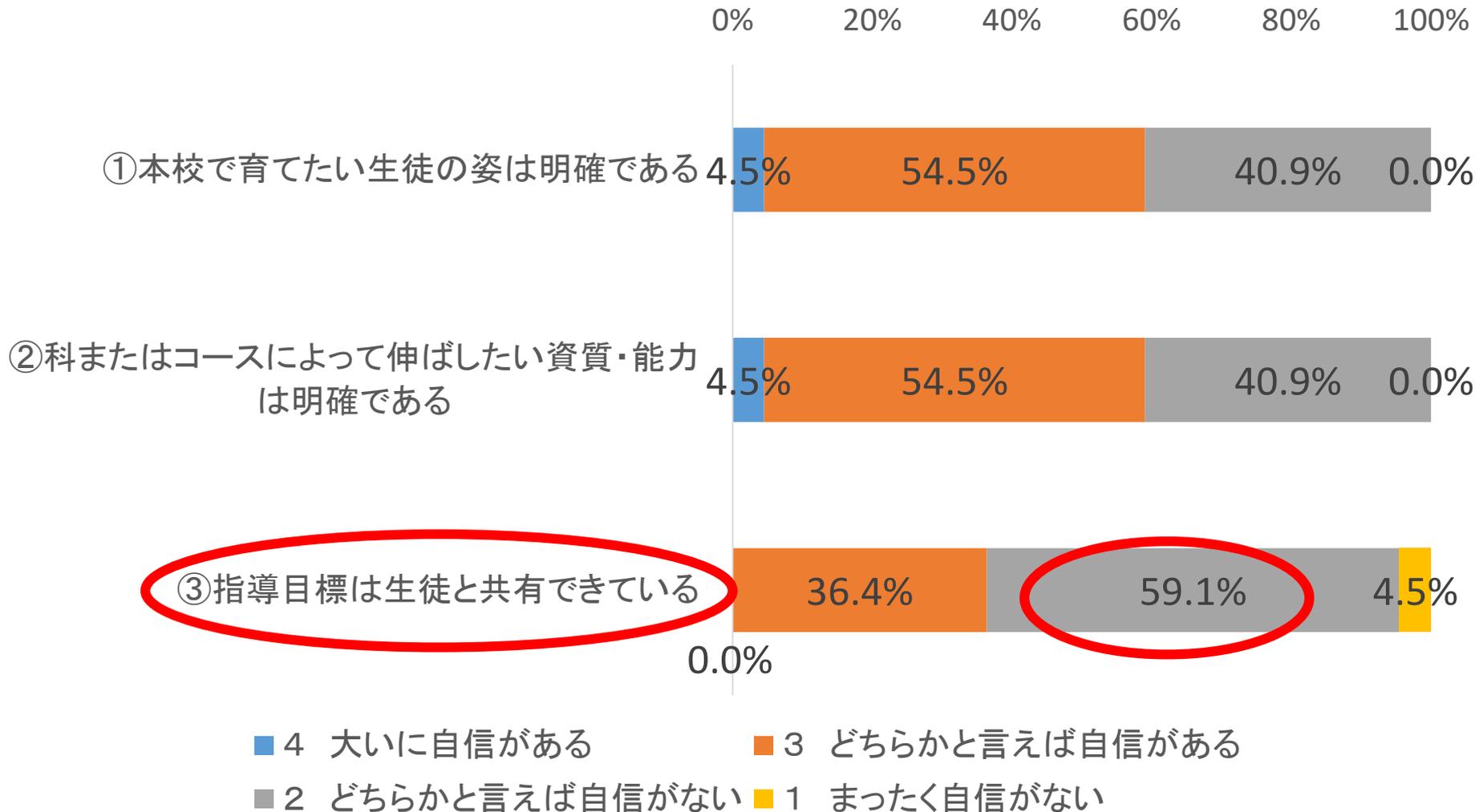
③学校全体で科目横断的な学習に向けた取組

▼①～⑭の項目について現在の状況をお聞かせ下さい。		4	3	2	1
目 標	①本校で育てたい生徒の姿は明確である。				
	②科またはコースによって伸ばしたい資質・能力は明確である。				
	③指導目標は生徒と共有できている。				
指 導 計 画	④指導目標に応じた全体の授業設計ができている。				
	⑤学力観の変化に応じた指導計画ができている。				
	⑥学習の進め方や探究活動に繋がる計画ができている。				
	⑦社会につながる学習の場の活用（外部との連携など）ができている。				
評 価	⑧生徒の多面的な評価を行うことができている。				
	⑨観点別評価の3観点の規準（要素）が理解できている。				
	⑩総括的評価と形成的評価の違いが理解できている。				
	⑪自己評価、他者評価を取り入れた評価を実践している。				
	⑫ルーブリック評価について理解できている。				
	⑬「指導＝評価」の一体化を意識した授業改善に取り組んでいる。				
	⑭自分自身も振り返りを行い、指導や計画を見直すことができている。				

《学習活動の工夫改善に関する取組》

③学校全体で科目横断的な学習に向けた取組

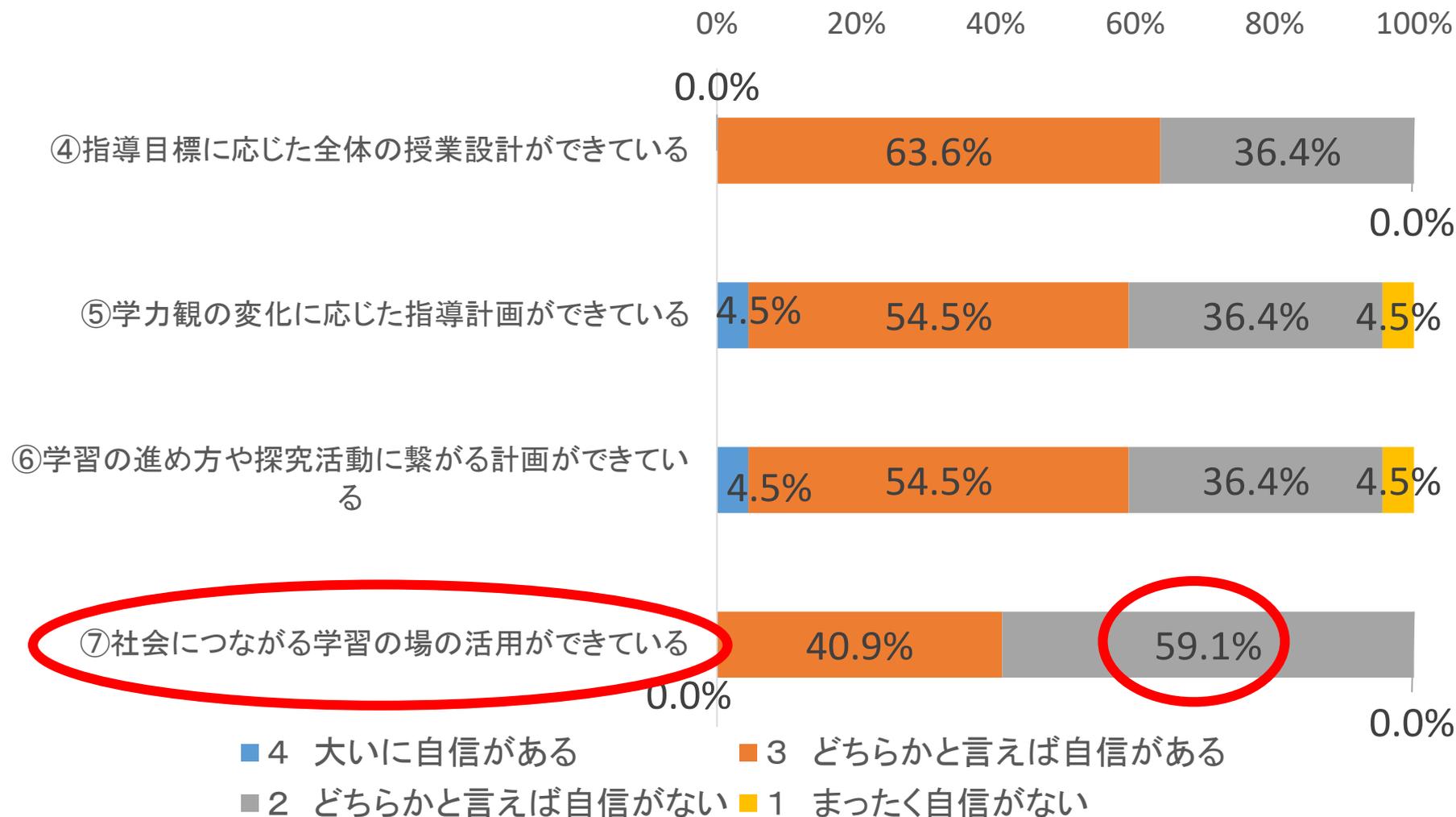
授業改善に関するアンケート:教育目標について



《学習活動の工夫改善に関する取組》

③学校全体で科目横断的な学習に向けた取組

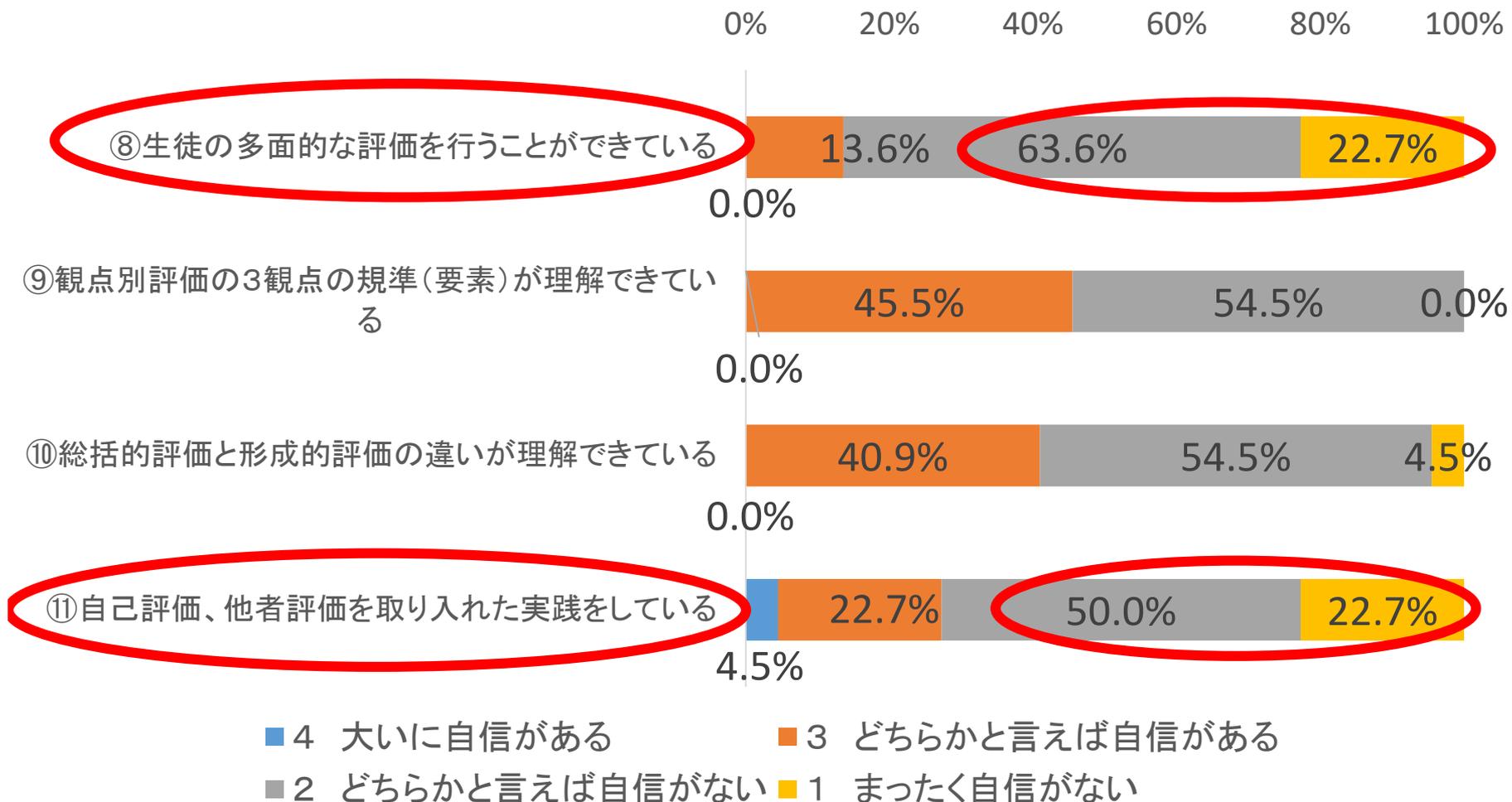
授業改善に関するアンケート: 指導計画について



《学習活動の工夫改善に関する取組》

③学校全体で科目横断的な学習に向けた取組

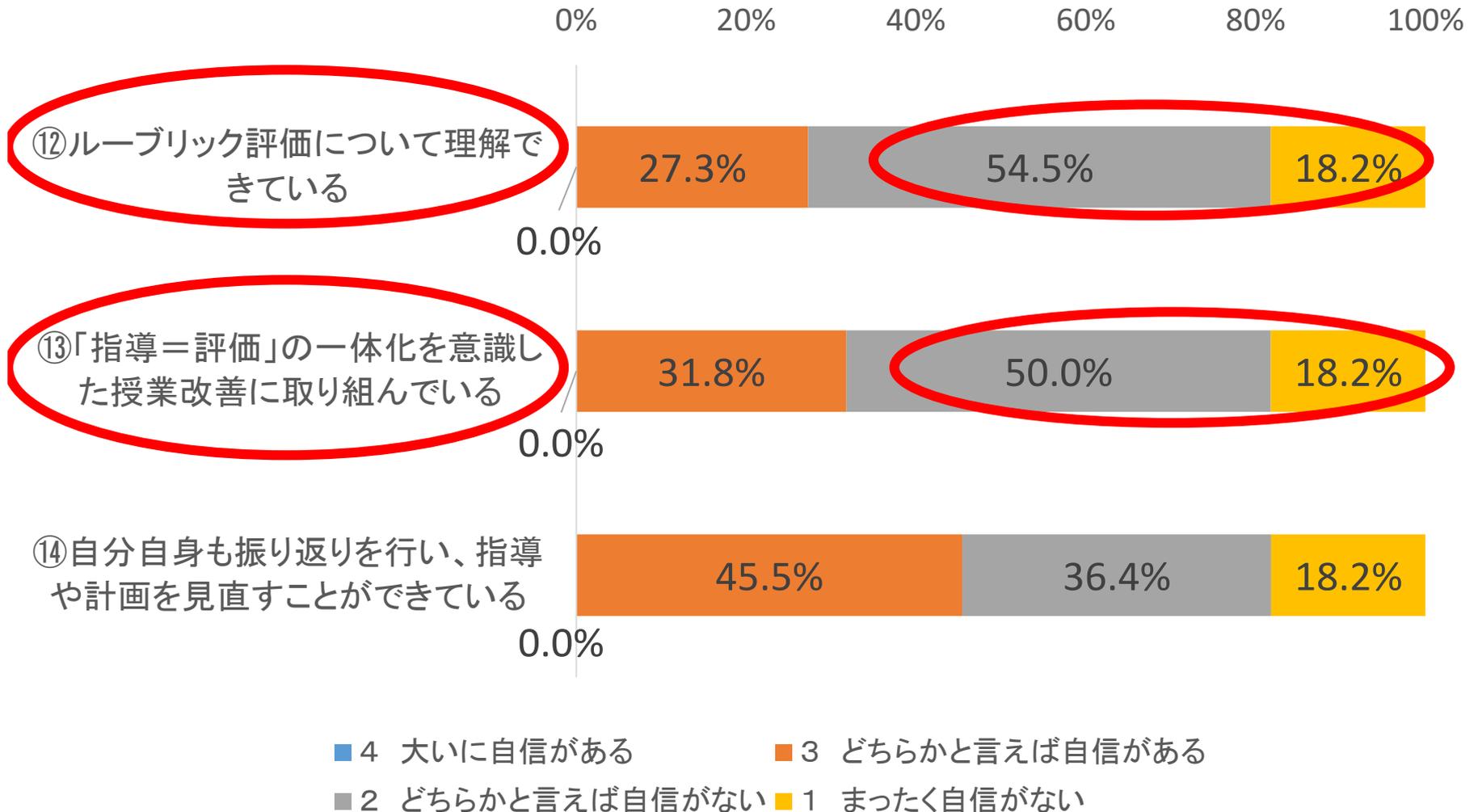
授業改善に関するアンケート:評価について



《学習活動の工夫改善に関する取組》

③学校全体で科目横断的な学習に向けた取組

授業改善に関するアンケート: 評価について



《学習活動の工夫改善に関する取組》

③学校全体で科目横断的な学習に向けた取組

《事前アンケートから見えた本校の課題》

- **教育活動目標の共有**
- **地域課題解決学習のメリットを
学校全体で活用する**
- **観点別評価について**
- **指導と評価の一体化**

本年度の研究内容

《評価方法の工夫改善に関する取組》

① 「課題研究」における観点別学習

状況の評価に関する研究



・ 他者評価の実施

《評価方法の工夫改善に関する取組》

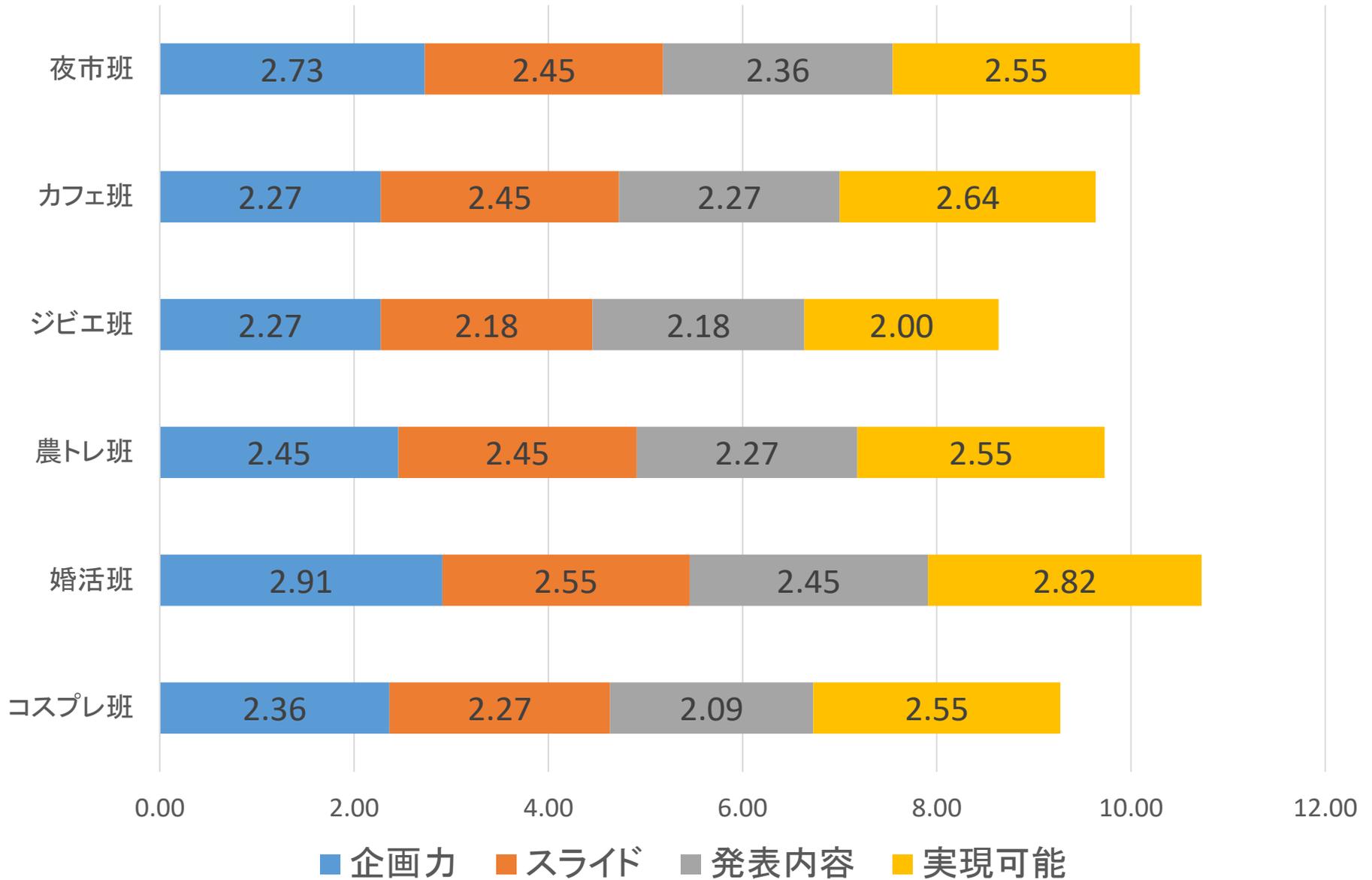
本日は菊池高校3年商業科における課題研究第1回発表会にご参加いただきありがとうございました。
今後の取組を充実させていくためにも、以下の項目についてアンケートへのご協力をよろしくお願いします。

1. 生徒の発表について（該当する数値に○を記入ください。）

		企画力			スライドの完成度			発表内容の充実度			実現可能度		
		3	2	1	3	2	1	3	2	1	3	2	1
①	コスプレ班	3	2	1	3	2	1	3	2	1	3	2	1
②	婚活班	3	2	1	3	2	1	3	2	1	3	2	1
③	農トレ班	3	2	1	3	2	1	3	2	1	3	2	1
④	ジビエ班	3	2	1	3	2	1	3	2	1	3	2	1
⑤	カフェ班	3	2	1	3	2	1	3	2	1	3	2	1
⑥	夜市班	3	2	1	3	2	1	3	2	1	3	2	1

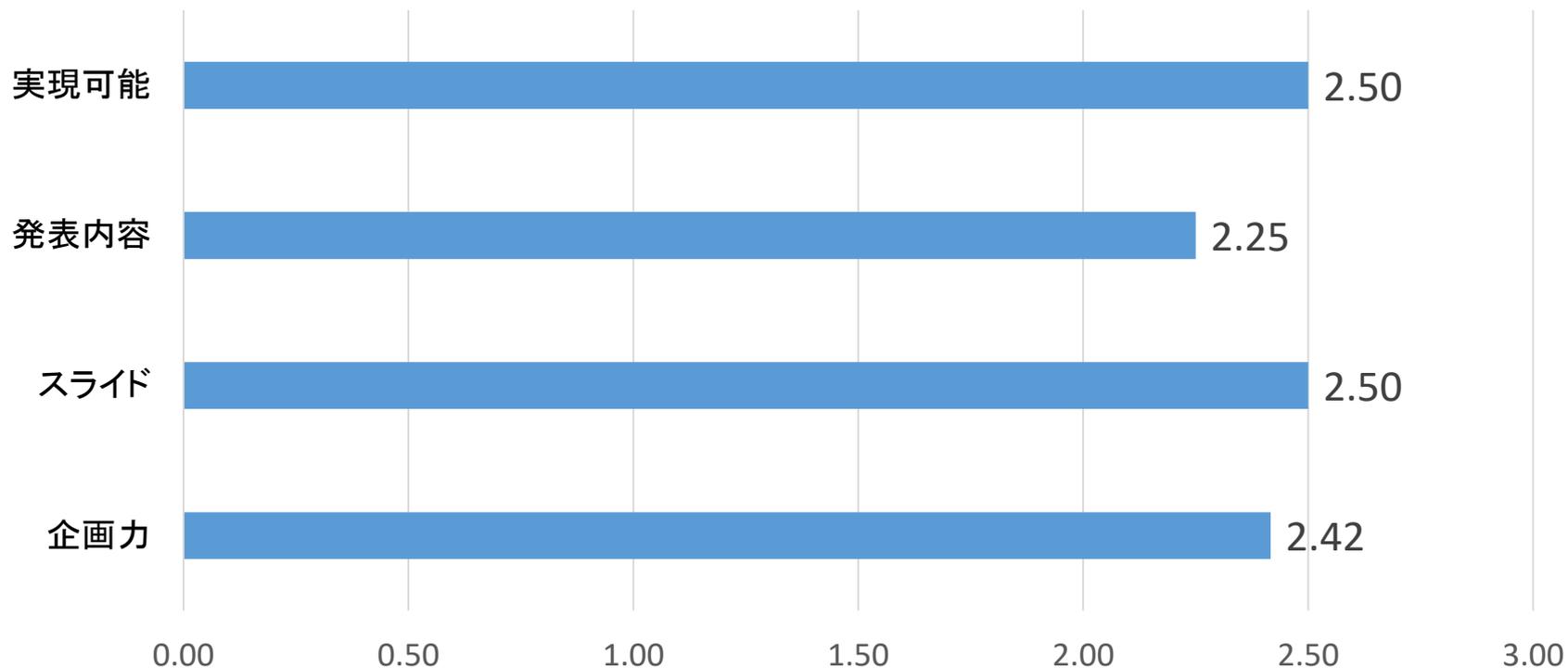
【改善点やアドバイスなど】※感想でも結構です

《6月課題研究発表会 外部アンケート評価》



《6月課題研究発表会 外部アンケート評価》

農トレ



- ・どの班も大変素晴らしい内容でした。
- ・農トレという内容がとても気に入っています。農業を行っていることで、どのような筋肉が鍛えられるのか、どのような良いことがあるのかをもっと具体的に伝えることにより、よいPRになると思います。
- ・農作物の生産は、春・秋が多く、イベント時期は夏は無理かな。
- ・もうひとひねりしてみしてほしい。

《評価方法の工夫改善に関する取組》

1 学期成績評価について

- ① 全員に40点を基準点としてスタート
(※4人の担当者と検討)

- ② 他者評価 20点⇒思考・判断・表現
(※外部評価によるもの)

- ③ 個人評価 40点⇒主体性
(※学習の記録、態度など)

《評価方法の工夫改善に関する取組》

■他者評価について

	企画力	スライド	発表内容	実現可能
コスプレ班	2.42	2.33	2.17	2.58
婚活班	2.92	2.58	2.50	2.83
農トレ班	2.42	2.50	2.25	2.50
ジビエ班	2.25	2.25	2.17	2.00
カフェ班	2.25	2.42	2.25	2.67
夜市班	2.75	2.42	2.42	2.58



5点ずつに換算

	企画力	スライド	発表内容	実現可能	合計
コスプレ班	4	3	3	4	14
婚活班	5	4	4	5	18
農トレ班	4	4	4	4	16
ジビエ班	4	4	4	3	15
カフェ班	4	4	4	4	16
夜市班	5	4	4	4	17

《評価方法の工夫改善に関する取組》

■他者評価について

A / B / C で考えた場合

項目点		得点範囲	評定
5	A	20点～17点	5
4	A	16点～13点	4
3	B	12点～9点	3
2	C	8点～5点	2
1	C	4点～0点	1

《評価方法の工夫改善に関する取組》

■項目ごとにABC評価を考えた場合

	企画力		スライド		発表内容		実現可能		合計		評価
	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	スコア	評価	
コスプレ	4	A	3	B	3	B	4	A	14	B	4
婚活	5	A	4	A	4	A	5	A	18	A	5
農トレ	4	A	4	A	4	A	4	A	16	A	4
ジビエ	4	A	4	A	4	A	3	B	15	A	4
カフェ	4	A	4	A	4	A	4	A	16	A	4
夜市	5	A	4	A	4	A	4	A	17	A	5

《評価方法の工夫改善に関する取組》

■ A B C 規準の明確化の必要性

例えば

A	⇒	A'	5
A	⇒	A	4
B	⇒	B	3
C	⇒	C'	2
C	⇒	C	1

《評価方法の工夫改善に関する取組》

■ A B C 規準の明確化の必要性



- ・ 育成したい生徒像に合った評価規準の作成
- ・ 指導と評価の一体化
- ・ 評価の場面 ⇒ 指導に活かす評価
記録に残す評価
- ・ 客観的評価にはルーブリックの活用

《評価方法の工夫改善に関する取組》

■ルーブリックの活用

	Excellent	Good	Developing
①苦勞した事をどのように克服したか？当日の成功体験など	自分の体験談をもとに記述しているとともに、克服した内容においても具体的な記述ができている	自分の体験談をもとに記述しているが、克服した内容の具体性が乏しい	体験記述が乏しい
②成長になった部分	具体的な経験と成長の部分での関連性が高く、客観的に自分自身を振り返ることができている	菊高ジャックでの経験が記述されているが、具体的な成長面との関連性の記述が乏しい（またはその逆）	体験記述が乏しい
③5つの資質・能力がプラスに働いた場面について	5つの資質・能力がどのようにプラスになったかを自分の経験と関連づけて具体的に4つ以上記述できている	資質・能力がプラスになった場면을記述できているが、具体性に欠ける記述が見られる	体験記述が乏しい

Excellentが3つ	A'
Excellentが2つでGoodが1つ	A
Good以上が2つ	B
Good以下が2つ	C'
Developingが3つ	C

評価

ルーブリックも生徒の実態に合わせてアップデート作業が必要

商業科3年へのアンケート実施

(人数55名)

『現在の自分を知るチェックシート』

3年商業科アンケート

実施日：令和 年 月 日

年 組 号 氏名

▼現在のあなたは、以下の項目についてそれぞれどのくらいの自信があるか自己評価して下さい。
各項目について4段階（4～1）の数字に○を記入して下さい。

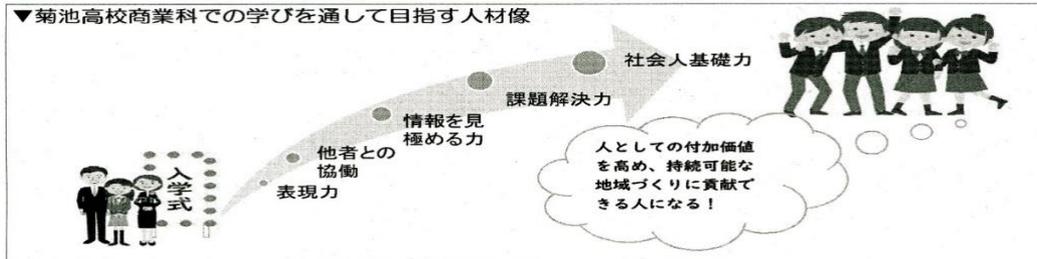
4	大いに自信がある	3	どちらかと言えば自信がある
2	どちらかと言えば自信がない	1	まったく自信がない

		4	3	2	1
主体性	1 勉強や部活などうまく進まなかった時に、何か工夫してそれを乗り越える力がある				
	2 疑問を持ち、考え抜く力がある				
	3 指示を待つのではなく、自らやるべきことを見つけて積極的に取り組むことができる				
	4 授業のなかで調査やデータを整理することが得意である				
チームワーク	5 自分の意見を周囲にわかりやすく伝えることができる				
	6 相手の意見を丁寧に聴くことができる				
	7 意見の違いや立場の違いを理解する力がある				
	8 一つのやり方にこだわらず、色々なやり方を考えたりすることができる				
社会との関わり	9 地域の企業や地域社会に対して興味・関心がある				
	10 地域との交流活動などに参加することが得意（好き）である				
	11 地域に対して興味・関心があり、自ら進んで地域社会に対して行動することができる				
	12 基本的な生活習慣（挨拶、時間を守る、身だしなみ、食事、掃除など）が身に付いている				
	13 商業の授業で学んだことを日常生活と関連づけて考えることができる				
	14 商業の役割や意味について周囲に伝えることができる				
	15 商業科での学びを今後の職業（仕事）に活かす自信や力がある				

全体的に自信を持てる
と答える生徒の割合が
増えた。



◀ ◀ ◀ アンケートの回答はQRコードからでも回答可能



※「社会人基礎力」とは「チームで働く力」（発信力・傾聴力・柔軟性・状況把握力・規律性・ストレスコントロール）
「前に踏み出す力」（主体性・働きかけ力・実行力）
「考え抜く力」（課題発見力・計画力・創造力）

アンケート項目（主体性）

- 1 勉強や部活動などうまく進まなかった時に、何か工夫してそれを乗り越える力がある。
- 2 疑問を持ち、考え抜く力がある。
- 3 指示を待つのではなく、自らやるべきことを見つけて積極的に取り組むことができる。
- 4 授業の中で調査やデータを整理することが得意である。

アンケート項目（チームワーク）

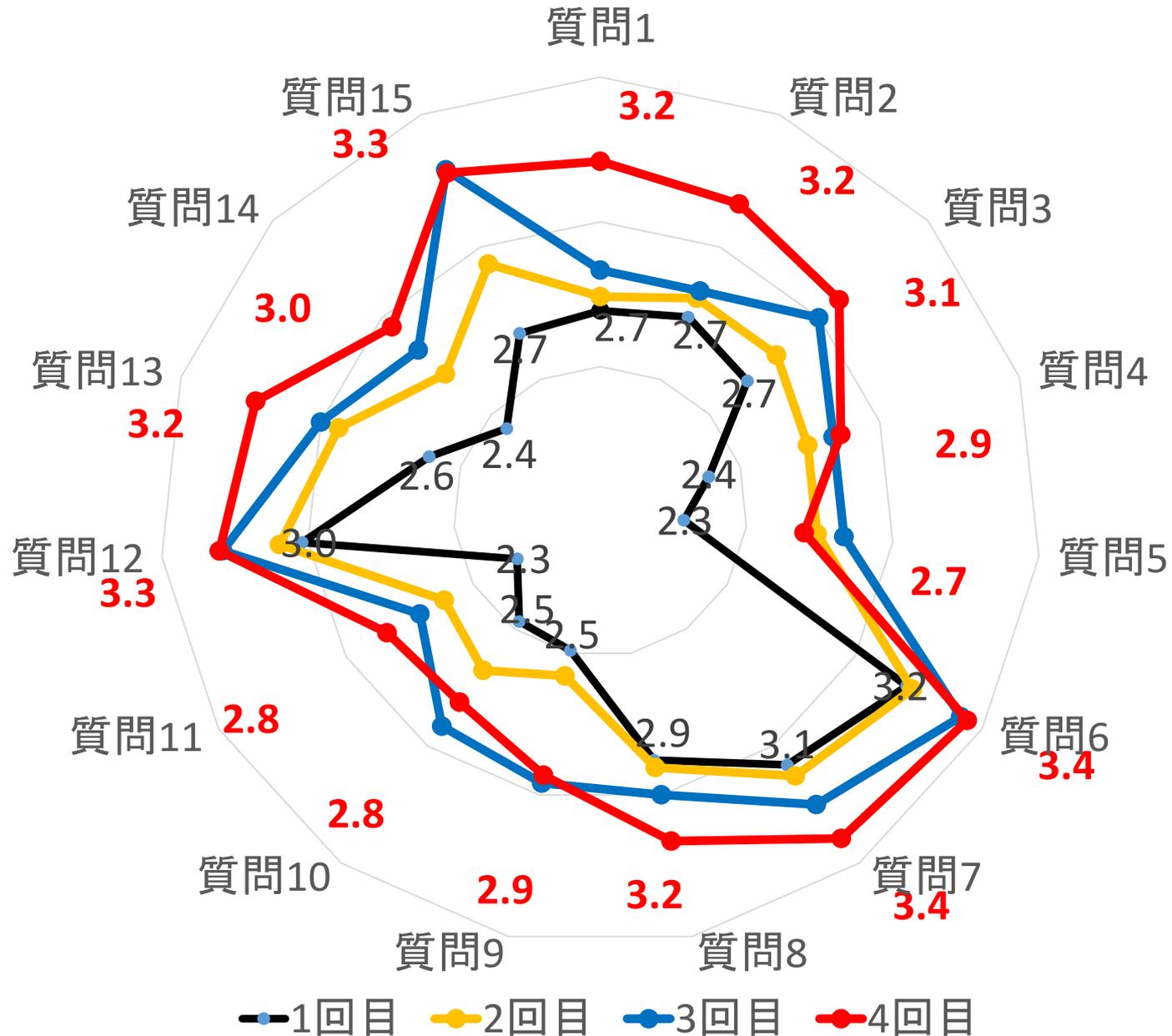
- 5 自分の意見を周囲にわかりやすく伝えることができる。
- 6 相手の意見を丁寧に聴くことができる。
- 7 意見の違いや立場の違いを理解する力がある。
- 8 一つのやり方にこだわらず、いろいろなやり方を考えたりすることができる。

アンケート項目（社会との関わり）

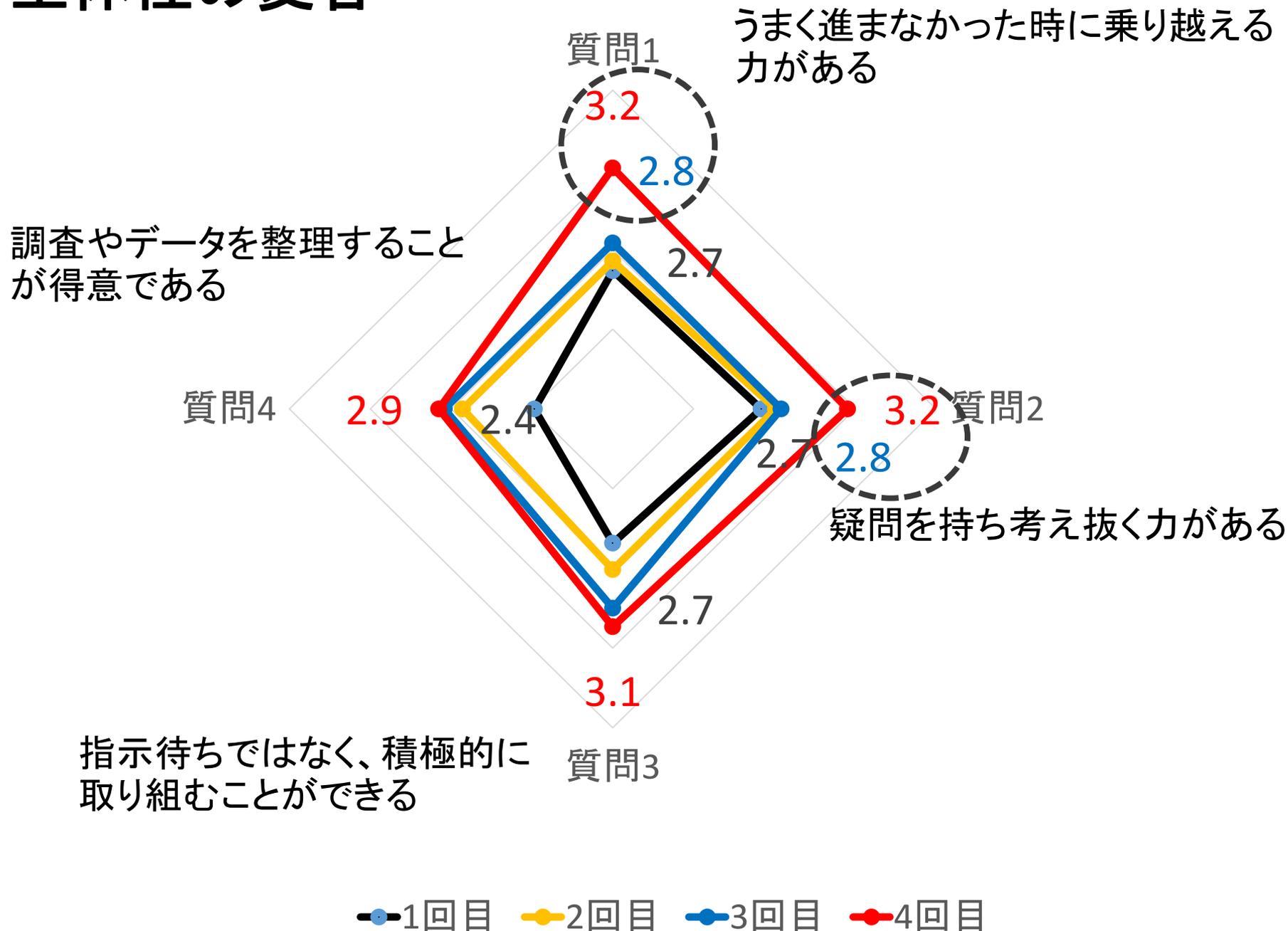
- 9 地元の企業や地域社会に対して興味・関心がある。
- 10 地域との交流活動などに参加することが得意（好き）である。
- 11 地域に対して興味・関心があり、自ら進んで地域社会に対して行動することができる。
- 12 基本的な生活習慣（挨拶、時間を守る、身だしなみ、食事、掃除など）が身に付いている。
- 13 商業の授業で学んだことを日常生活と関連付けて考えることができる。
- 14 商業の役割や意味について周囲に伝えることができる。
- 15 商業科での学びを今後の職業（仕事）に活かす自信や力がある。

《1回目～4回目 全体の変容》

(n=55)



主体性の変容



《主体性の変容における検証》

■ 質問1～3(主体的に取り組む態度)

生徒の失敗や成功体験などから育まれる資質であって
体験活動の影響により、生徒自身も得られやすい資質

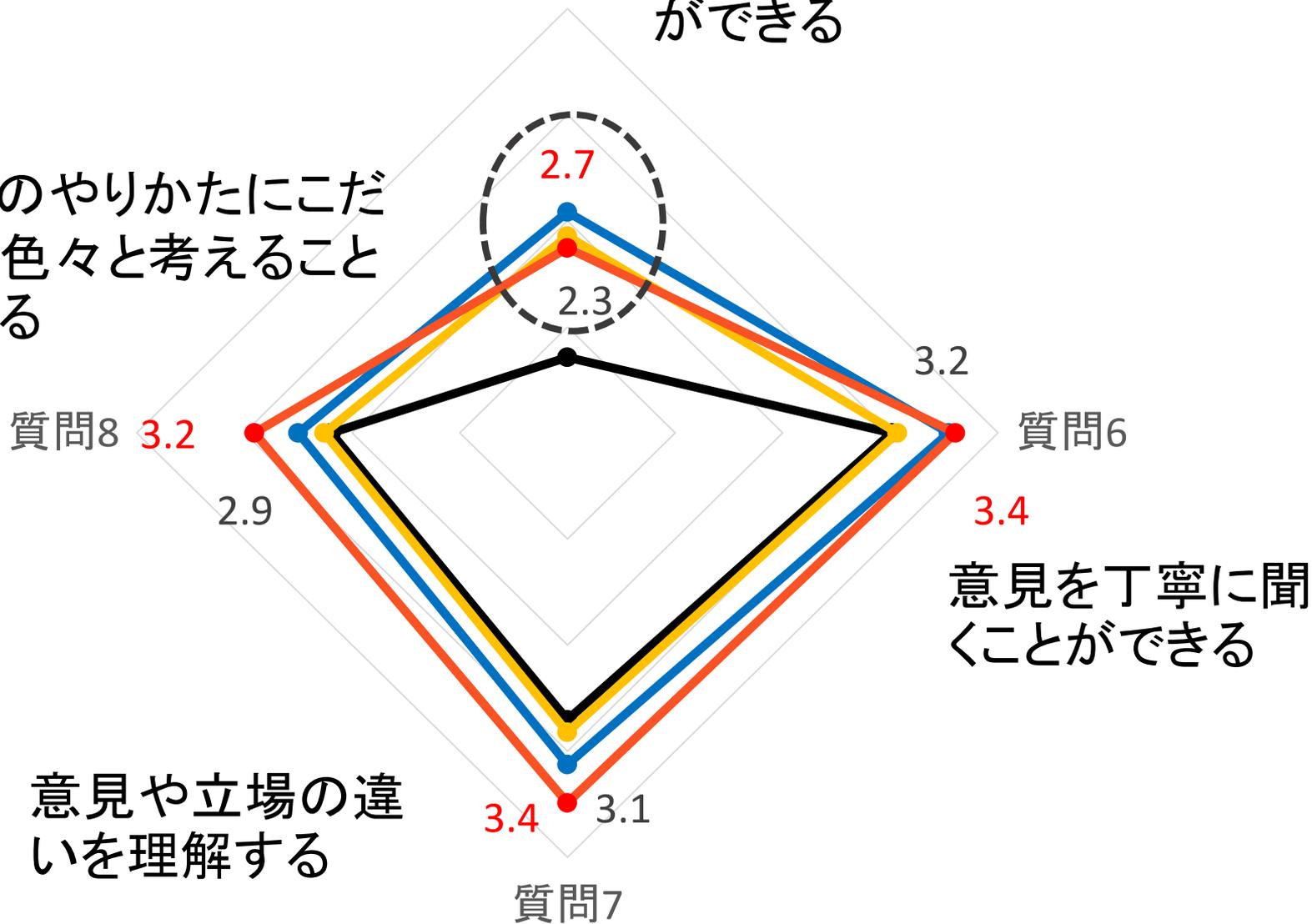
■ 質問4(情報を見極める力)

調査やデータを整理することは、知識・技能に関連づけ
られる要素として、科目横断学習(情報処理とマーケ
ティング)による効果が大きかった

チームワークの変容

質問5 意見をわかりやすく伝えることができる

ひとつのやりかたにこだわらず色々考えることができる



意見や立場の違いを理解する

意見を丁寧に聞くことができる

● 1回目 ● 2回目 ● 3回目 ● 4回目

《チームワークの変容における検証》

■ 質問5～8（表現力、協働する力）

ワークショップや体験活動などによる機会の充実によって協働する力や表現力などが育まれた

■ 質問7～8（協調性、課題解決力）

体験活動により、仲間の存在や様々な視点から物事を考察し課題解決にチームとして協働する力がアップ

■ 質問5（表現力）

サービス業の難しさを実際に体験することによって、自分の意見＝周囲との一致にならない

社会との関わりの変容

質問9 地元企業や社会に対して興味・関心がある

質問15

商業科の学びを今後に活かす自信や力がある

質問10

地域との交流活動が好きである

質問14

商業に役割や意味について伝えることができる

質問11

自ら地域社会に対して行動できる

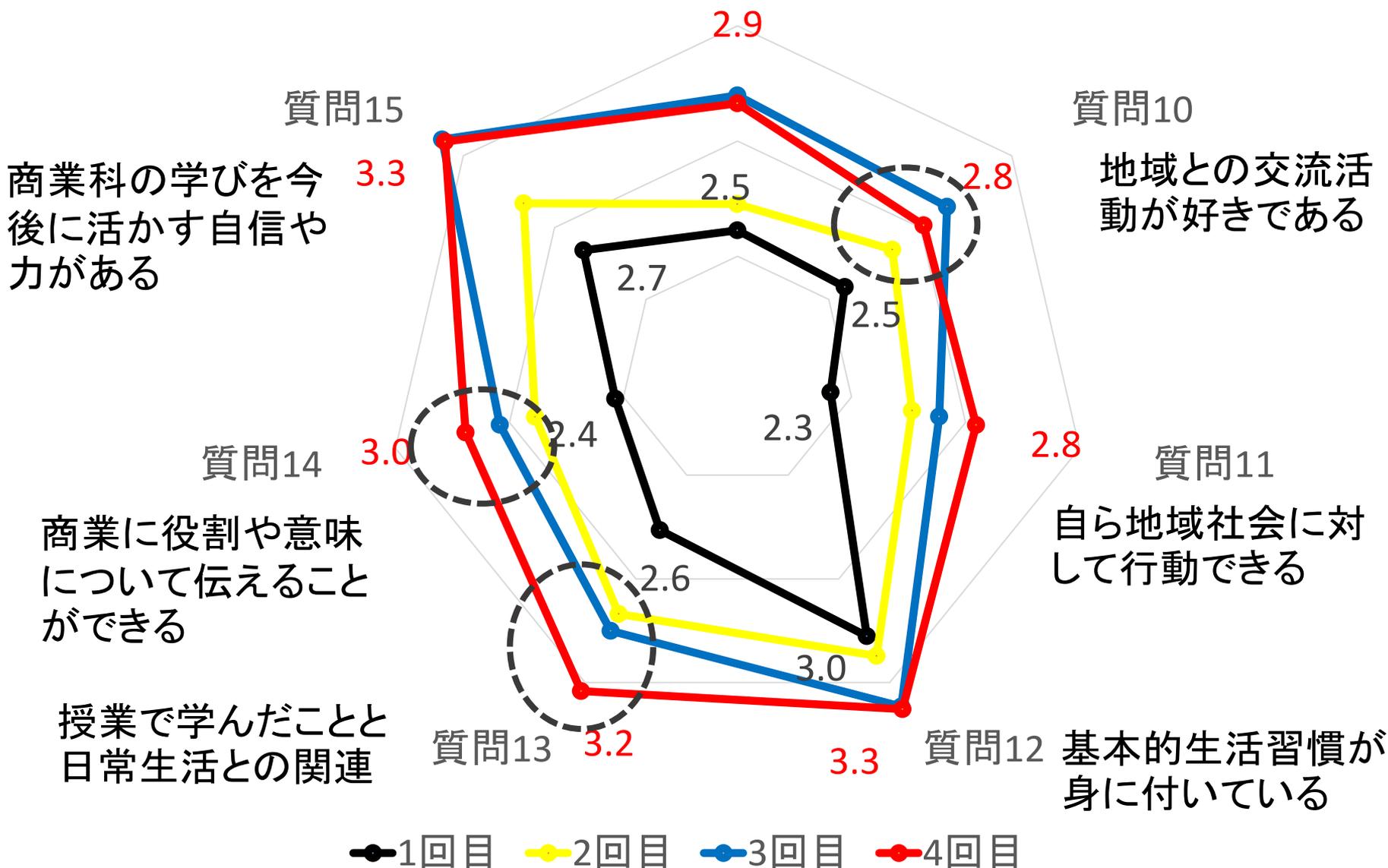
授業で学んだことと日常生活との関連

質問13

質問12

基本的な生活習慣が身に付いている

● 1回目 ● 2回目 ● 3回目 ● 4回目



《社会との関わりの変容における検証》

■ 質問9～15(課題解決力、社会人基礎力)

地域課題解決学習のメリットが効果的に表れた

■ 質問13～14(課題解決力、社会人基礎力)

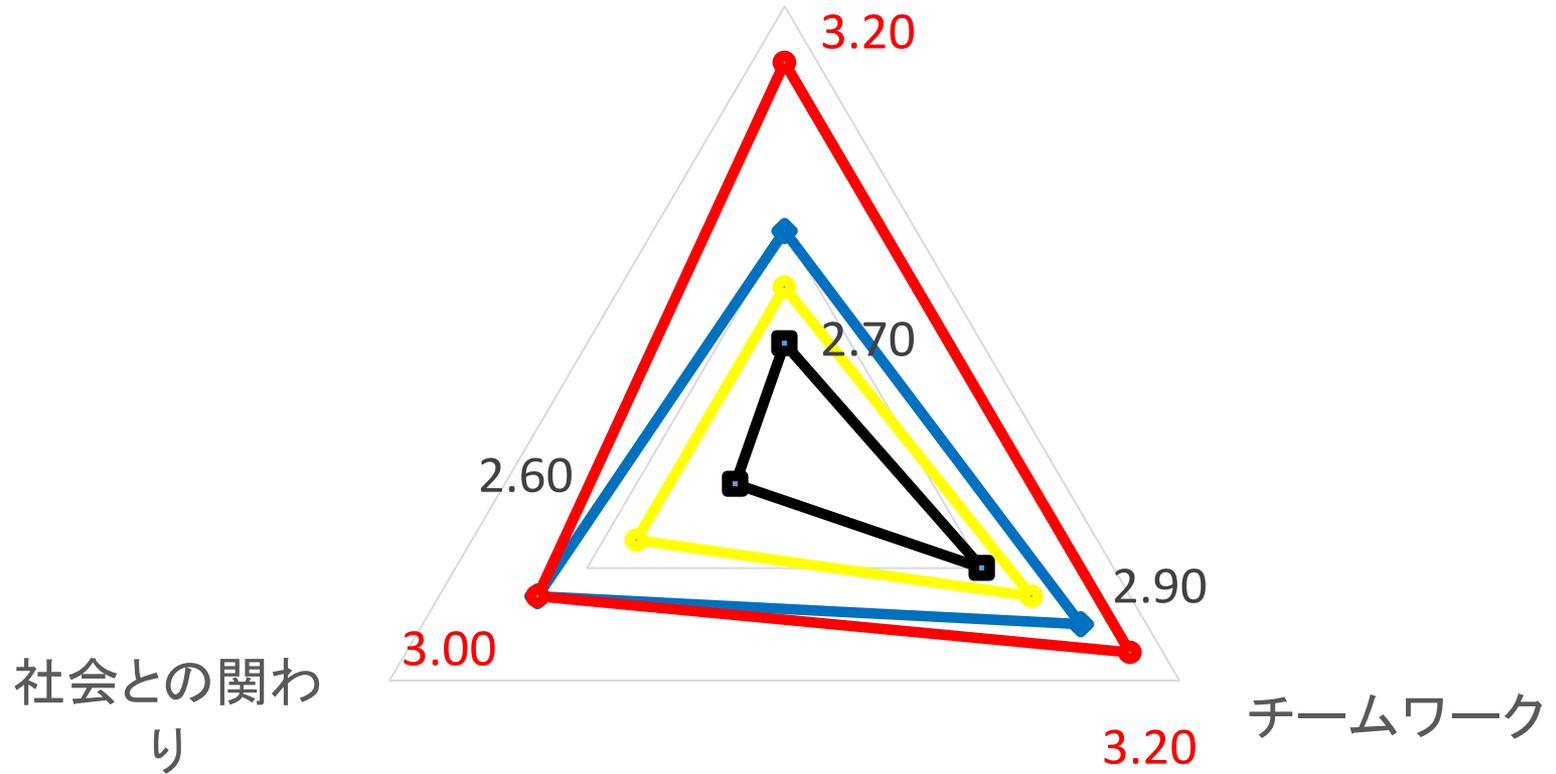
商業科での学びを体験活動で実践することにより
キャリア教育の育成にも繋がった

■ 質問10(社会人基礎力)

地域や企業とのコミュニケーションはチームとしては
自信を持つ生徒の増加になったが、個人としては、
その課題解決に対する難しさを実感する機会となった

《1回目～4回目 資質・能力の変容》

主体性



■ 1回目 ● 2回目 ● 3回目 ● 4回目

[成果] まとめ

- ①科目横断的な学習の効果（マーケティング・情報処理⇒課題研究）主体的・対話的で深い学び、ビジネス的な見方・考え方の醸成などへの効果が大きかった
- ②社会との関わりや主体性アップには生徒自らが成功・失敗体験を得る過程が重要要素である
- ③地域課題解決学習のメリットを活かした教育実践⇒生徒の興味・関心を高め、商業を学ぶ本質に触れる機会の増加

[課題] まとめ

- ①主体性を育てるための教育実践（意見・立場の違いを理解する≠自分の意見を周囲に伝える）
- ②学校全体で社会に開かれた教育活動の実現を育成を目指す資質能力を活かした教育活動の展開
- ③地域や産業界の関係構築を行う担当者や校務分掌の設置

ご清聴ありがとうございました。